

平成27年度 安曇野市文化祭



10月17日から11月22日にかけて、各地域で文化祭が開催されました。
 本年も、芸能発表会や作品展示などで日頃の成果を披露し、多くの皆さんが芸術文化に親しむ機会となりました。

安曇野市公民館報

安曇野市
 中央公民館
 No.28 2015.12.2
 TEL 71-2466



櫓 市制施行10周年記念事業
 でにぎわう秋、例年通り
 変わらず開催される地域の文化
 祭。大人だけでなく、秋は保育園
 から始まって小学校、中学校での
 音楽会や運動会、文化祭、高校の
 学園祭とイベント続き。準備をし
 て一生懸命練習している姿を見
 と、成長を一番感じる季節かもし
 れません。いつもと少し違うこと
 に、みんなと一緒に取り組むこと
 が大切ですね。
 (K・T)



明科文化祭

艶やかな舞姿

第11回明科地域文化祭が10月31日、11月1日に行われた。毎年、市民の創意工夫のある作品が会場を埋めており、来場者はそれぞれに足を止めて熱心に見入っていた。

チョウの標本展示は昨年と比較して、個体の少ないことを出品者の熊井恵美子さんに尋ねると「これだけ」と言っていた。自然環境の変化なのか、昆虫の世界にも変化が出ているのか、一時的な出来事で終わってくれればよいが…。



手芸作品のコーナーでは、「仲良し姉妹が晴れ着を着て遊ぶ、昔懐かしい子ども遊びを猫が見ている、立像化された人形像」の大作が目を引いた。憲法をよむ会のコーナーでは、戦後直後に文部省から発行された『あたらしい憲法のはなし』などが展示され、当時を振り返って、話し込む姿があった。芸文協主催による芸能発表会では、明南小学校、明北小学校の金管バンド部の合奏を皮切りに、31ステージの発表があった。舞踊の美しさはいつものことながら、艶やかに舞う姿に美しさを感じる。日頃の教室で技が磨かれた芸の勢揃いの日だった。

堀金文化祭

堀金公民館は10月30日から11月1日まで堀金総合体育館で文化祭を開いた。

作品展示・大鎧武者登場

展示は、保育園児、小学生、中学生、地区公民館、高齢者のコーナーや自由展を設け、応募しやすい工夫をしている。「常念荘」「かえでの家」「デイサービス」や「まがりつと」「見岳荘」といった施設の作品も展示された。圧巻だったのは「盛り上げ隊」の宮島千里さんが、仕事の後、6カ月ほどかけ制作したという、身長4メートルの真田幸村が会場を見下ろす姿であった。



まどいの広場&芸能祭

まどいの広場は31日、堀金小学校金管バンド部と、堀金中学校吹奏楽部による演奏、同校の赤鬼塾

が太鼓演舞を披露した。午後からの芸能祭では、堀金小学校合唱部、地区公民館のサークルによる詩吟、民謡、ダンス、コーラス、武術の発表に、横笛、太鼓、大正琴、二胡などの演奏が披露された。



堀金一周駅伝大会

第51回堀金一周駅伝大会は、10区間全9地区の公民館対抗で11月1日に開かれた。レースは初優勝を狙う倉田チームをゴール寸前にかわす大接戦の末、上堀チームが連覇を達成した。

(東山路)



三郷文化祭

三郷公民館は10月17日から11月7日の間、三郷文化公園園体育館を主会場に、文化産業展、運動会、ふれあいコンサート、菊花展、芸能発表会を開催した。

特技は磨いた趣味の世界

文化産業展は10月17、18日の2日間、文化公園園体育館で開催された。書道、短歌・俳句、絵画、絵手紙、写真の他、押絵、押花絵、クラフト、手芸、手作り人形、陶芸、彫塑など多彩な作品が展示され、さらに会場を埋め尽くすほど多くの山野草や盆栽の作品が出品された。また、三郷郷土研究会のグループごとの発表に加え、三郷昆虫クラブは、昆虫の標本や写真の展示をしたが、田島尚さんのガの標本と、丸山知裕さんの鮮やかなチョウの標本は目を引いた。姉妹都市や三郷小中学校生徒の三品も展示され、伝統文化の継承を目



指して活動をするグループの小学生が生けたきれいな生け花も注目された。

文化の薫り高く



三郷中学校の講堂では24日、ふれあいコンサートを開き、小学校、中学校の吹奏楽部や合唱部が出演し、マリンバやミュージックベルクラブなどが演奏の発表をした。

芸能発表会は11月7日、文化公園園体育館で開かれ、舞踊や太極拳、社交ダンス、獅子舞などのグループが出演した。菊花展も文化公園園体育館のラウンジで開き、会場は菊に彩られた文化の薫りに満たされていた。

(東山路)



穂高文化祭



穂高文化祭は、10月29日から11月16日まで開催された。「総合美術展」は、穂高会館アリーナで行われた。書、絵画、ビデオ、華道、茶道、彫刻、木彫、ひょうたん、押絵・木目込人形、押し花、水石、着物作品が展示された他、種々

まいた先人たちの文化を学ぶ会、小・中・高校生の絵画、個人出展、有明高原寮、高齢者作品、心身障がい者福祉展、安曇野緑の会が、コーナーを飾った。場内には呈茶席も設けられた。

穂高神社の境内では、盆栽・山野草展・菊花展・穂高人形・

御船祭保存会の3教室展が展示された。

「芸能まつり」は穂高公民館講堂で行われ、参加者は成果を発表した。1日は、午後からカラオケ発表会が行われ、38人がステージで熱唱した。2日は、民謡・フラダンス・日本舞踊など13のグループが発表した。3日は、オープニングに全員で『里の秋』を合唱し、コーラス・琴・モダンジャズなど7グループが発表し、アルプホルン、穂高西小学校、穂高東中学校、穂高西中学校の吹奏楽の演奏、穂高北小学校合唱部の合唱も披露された。最後に全員で安曇野市歌『水と緑と光の郷』を歌い、締めくくった。



豊科文化祭

豊科地域文化祭は10月30日から11月22日にわたって、メイン会場となる豊科公民館が改修工事のため、3会場に分かれて開催された。

豊科近代美術館では、お茶会と美術、書道、一般作品展示が行われ、日頃の活動の成果や丹精込めた作品の展示の数々が会場を飾っていた。

本年は、地区公民館からの出展が多くあり、バラエティー豊かな作品が見る人の足を止めていた。



豊科交流学習センター「きぼう」では、お茶会や華道展、フラワーアレンジメント展が行われ、花と花器の織り成す迫力と美しさで圧倒されるようだった。また、菊花展も「さぼう」の回廊や芝生広場で行われ、大輪、福助、ダルマ、懸崖、盆栽菊など、にぎやかに展示された。



秋晴れの中 穂高地域 市民運動会



10月18日、市内5地域で市民運動会が開催された。穂高地域では、穂高東中学校校庭で12地区が参加して行われた。好天に恵まれ、100m競争、大玉送り、綱引き、区対抗リレーなど13競技を、子どもから大人までみんなで一丸となり競った。

本年の運動会は、狐島地区が優勝した。また、安曇野市制施行10周年記念特別賞として第10位になった塚原区が表彰された。

参加者からは、「楽しかった」「豚汁が美味しかった」などの他、「参加地区が少ない」「もっと人数が集まってほしい」「運動会を続けてほしい」などの声も聞かれた。

新屋地区から参加した中村さんは、「子どもから高齢者までみんなが参加できて穂高地域全体のイベントであるという点で運動会は大切です。有事の際、地域全員で協力し復興している他所の事例を見聞きしても、次に代わるものが見つかると運動会を続けるべきです」と語っていた。

